

校長あいさつ

本校は、昭和 52 年 4 月 26 日に宮古諸島全域を通学区域とする、沖縄県立宮古養護学校として開校しました。その後、平成 21 年に宮古特別支援学校に校名変更、翌平成 22 年にはこれまでの知的障害に加えて視覚・聴覚・肢体・病弱を含めた五障害種に対応した、総合型特別支援学校として教育実践に取り組んでいるところです。

また、学校を取り巻く環境としては、校門前方には伊良部島が展望でき、校舎の裏には通称「野田の森」があり、自然豊かで風光明媚な立地環境にあります。その中で子どもたちは元気いっぱい、のびのびと学校生活を楽しんでいます。

こうした恵まれた環境の中で今年度は、小学部 20 名、中学部 12 名、高等部 36 名、計 68 名の児童生徒と教職員 74 名の構成でスタートしました。学校規模としては、比較的小規模校という特性を生かし、学部の枠を超えた子どもたち同士の「学び合い」が、様々な場面で見られるのが本校の特長でもあると考えます。また、特に近年においては、宮古地区の特別支援教育におけるセンター的役割を担う学校として、地域の小・中、高等学校等への情報提供等を行ってまいりました。

こうした本校を取り巻く状況をふまえ、今年度は地域のニーズに応えられる「学校力」の向上をさらに目指すことを視野に入れ、教育の柱を「子どもの主体性を育む教育」とし、それをベースとして、①学習活動等における「学びの重視」、②当たり前の事が当たり前に行える「生活上の基礎的・基本的行動の定着」を軸に教育実践を展開することとしました。

また、教職員・子ども・保護者の「三者による学校の協創」という、学校経営の基本的な考え方に基づき、子どもの成長に関する情報や目標等の共有、学校と家庭の役割分担を踏まえた取組、さらに関係諸機関との連携など支援体制をより強固なものにするよう努めております。

このように学校と家庭との連携を深め、子どもたちの「今」及び「将来」のよりよい生活すなわち QOL の向上が実現できる学校を目指して取り組んでまいります。

本ホームページを閲覧された皆様におかれましては、本校の教育活動のさらなる充実に向けて御指導・御助言を賜りますようお願い申し上げます。

沖縄県立宮古特別支援学校
校長 佐和田 聡